

令和5年度 学校報告会

令和6年3月1日
川崎市立南加瀬小学校

令和5年度 学校教育目標

心豊かでたくましく
実践力のある子供の育成

<今年度 キャッチフレーズ>

思いやり、進んで学び、くじけない
地域と育つ南加瀬

今年度の重点(共生・協働)

- ・自然に挨拶がかわされる環境づくり⇒全校あいさつ運動
- ・自尊感情の育成 ⇒SOSの出し方・受け止め方教育
人権集会等の実践
- ・いじめの防止と早期発見と的確な初期対応
- ・人権感覚を養う言語環境の構築 ⇒職員も研修
- ・共生 * 共育プログラムの充実

今年度の重点(自学・自習)

- ・新学習指導要領に対応したカリキュラムの改善
- ・資質・能力の育成に対応した授業改善⇒GIGA端末活用
- ・思考力の育成を支える基礎学力の定着⇒国語学習を中心に
- ・読書活動の推進 ⇒学校図書館司書を中心に環境整備や
おすすめの本の紹介活動
- ・信頼される学校評価の構築

今年度の重点(自主・自立)

- ・基本的生活習慣の定着
- ・体力向上と運動の習慣化⇒きらきらタイムの充実
- ・子供自身による健康管理⇒保健指導の充実
- ・子供自身による防犯・安全管理⇒避難訓練の更新
- ・心身ともに健全育成

今年度の重点(地域連携)

- ・地域の人材を活用した学習づくり⇒4年矢上川の学習
⇒3年まちの学習
- ・図書活動を含む地域ボランティアの活用
- ・地域行事への参加の呼びかけ⇒地域ふれあいまつり紹介
- ・正確で迅速な情報発信
- ・PTA・地域と連携した子供の安全確保

学校評価の実施方法

- 児童 GIGA端末を使いGoogleフォームで回答
- 保護者 Logoフォームで回答
- 教職員 Googleフォームで自己評価を回答後、学校評価協議会でグループ協議
上記の三点の結果を受け、担当者と校内4部会長による考察まとめ
- 記述欄の内容は全体で共有
- 学校教育推進会議・学校報告会にて報告
- 学校ホームページに結果を掲載、あわせて学校報告会に参加できなかった方向け
に動画配信を実施

学校教育推進会議より

- ★2月27日(火)学校教育推進委員の皆様にご来校いただき、第2回学校教育推進 会議を開催。学校評価結果の共有、授業参観をもとにご意見をいただきました。(以下抜粋)
- 子供たちが生き生きと楽しそうに学んでいて良かった。
 - どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいた。
 - 地域に感謝の気持ちをもっている子が多く嬉しい。外でも挨拶をしてくれる。
 - 寺子屋等で関わっていると学校全体に落ち着きを感じる。外で会うと子供たちはよく 声をかけてくれる。地域の寺子屋を頑張りたい。

○交換授業の取り組みが良い。学年の先生皆で、学年の子供を指導するという考えは子供にとっても先生にとっても良いのではないか。

○目指す子供の姿に「他者を大事に」とあるが、まず「自分を大事に」できることを大事にしてほしい。

○子供が満足そうな表情をたくさん見ることができた。様々な学習の中で自分らしさを出したり発散したりできているのを感じる。

○GIGA端末が活用されているのがわかる。

○先生方が後ろから子供を支えているような授業がたくさん見られた。先生方の授業が変わっているのを感じる。

○委員会活動などで様々な取り組みをしたり、募金活動等も自主的に頑張っていることがわかる。

○学校評価の結果を見ると子供たちは肯定的で前向きな回答が多いことがわかる。保護者や先生の見方の厳しさを感じる。大人の見方も変わっていくといい。

○夢っ子山の跡の活用方法は？→安全基準が変わり同様の遊具を設置することは難しい。鉄棒やうんていの設置を予定

○学習が遅れがちな子への支援方法は？

→個別の支援計画を立て入り込みや取り出しの指導を実施しフォローしている。

GIGA端末では個々の進度に合ったドリルにも取り組むことができる。

○図書室など良い環境がつけられている。おすすめの情報があるのも良い。

○掲示物や作品が素晴らしく子供たちの想像力の豊かさや思いを感じる。南加瀬の子供たちに希望を感じた。

今後の課題

- 主体的な学びへの授業改善の継続
- 児童同士の関わりを深めるGIGA端末の活用の推進
- 教科担任制や交換授業の推進を図り、学年チームでの指導の充実
- 児童支援・特別支援体制の充実(素早いチーム対応と個別の支援・教育相談の充実)
- R7年度の学校運営協議会発足に向け、地域やPTAとの更なる連携

一年間ご理解とご協力をありがとうございました。
今後ともよろしく願いいたします。

南加瀬小学校教職員一同